

達人調整安全のためのクレド

(1) 受手判断のクレド

私が受手となった時、施術の強度が私の身体にとって適合(*注)かどうかについて、私自身が判断し、適合になるように施手に伝えます。また、施術の方法自体が私の身体にとって、また施手との関係が私にとって適合かどうかについても、私自身が判断し、不適合と判断する場合にはそのことを指導者及び施手に伝えます。

* (注) 適合：ここでは、受手・施手にとって、達人調整の術技の方法自体、術技実施の強度または両者の関係などが、適切もしくは合致している意味で使用します。

(2) 施手判断のクレド

私が施手となった時、施術の方法自体が私の身体にとって、または受手との関係が私にとって適合かどうかについて、私自身が判断し、不適合と判断する場合にはそのことを指導者及び受手に伝えます。

(3) 施受間会話のクレド

私は施手または受手として、施術に入る前から施術中にわたり、必要に応じ次の①～⑥等の会話を必ず交わし、安全達成のためのコミュニケーションをはかります。

- ①【受手】～に障害があるので／～が弱いので止めたいと思います／慎重にやってください。
- ②【施手】どの位でやりますか？
- ③【受手】～位で
- ④【施手】いかがですか？ 大丈夫ですか？
- ⑤【受手】強い／弱い 痛い／良い ちょうどいいです。
- ⑥【施手】わかりました。

(4) 受手・施手・指導関係者(=指導者及び指導助手)間会話のクレド

私は受手・施手または指導関係者として、施術に入る前から施術中にわたり、必要に応じ次の①・②等の会話を必ず交わし、安全達成のためのコミュニケーションをはかります。

- ①【受手・施手】～に障害があるので／～が弱いので止めたいと思います／組む方を交替してくれますか。
- ②【指導関係者】わかりました。では見学をしてみてください／では〇〇さんと交替してください。

(5) 指導関係者安全促進のクレド

私が指導者及び指導助手である時、クレド(1)(2)(3)(4)が確実に実行されるように促進します。

以上

運動科学総合研究所

達人調整講座 参加条件

達人調整講座を受講されるには、事前に「達人調整安全のためのクレド」を承認いただくことが必要です。お申し込み用紙にクレド承認確認欄がありますので、指示に従ってご記入の上、お申し込みください。

お客様がクレドを承認していることが当方で確認できない場合には、お申し込みを承ることができませんので、ご注意ください。

また、下記(1)～(2)項のうち一つでも該当する項がある場合には達人調整講座を受講することができませんのでご確認ください。ただし、該当する項があるにも関わらず受講を強く希望される場合には(3)を確約される場合に限って受講することができます。

- (1) 身体の障害や弱点の為、通常のスポーツ・ランニングや、引越での荷物運び作業等が行えない状態にあること。
- (2) 身体の障害や弱点の為、達人調整による圧迫・引張・屈曲・捻転・揺動・擦動等を受けた時に耐えられるだけの十分な耐久力がない状態にあること。
- (3) ご自身の身体について十分な専門的な知識・認識があり、「達人調整安全のためのクレド」を完全に遂行することができ、そのことにより自分の障害・弱点に起因する事故や問題を一切起こさないということに責任が持てること。

以上

運動科学総合研究所